

社会福祉法人 育生会
平成28年度 事業報告書 - 第22期 -

1: 実施事業

【第一種社会福祉事業】

特別養護老人ホーム (よつば苑) 定員 112名

【第二種社会福祉事業】

老人デイサービス事業 (よつば苑) 定員 30名

老人短期入所事業 (よつば苑) 定員 8名

認知症対応型共同生活介護 (かぐやひめ) 定員 18名

認知症対応型共同生活介護 (たまたばこ) 定員 18名

地域密着型通所介護事業 (たまたばこ) 定員 10名

生活困難者に対して、その住居で衣食その他日常の生活必需品

若しくはこれに要する金銭を与え、又は生活に関する相談に

応ずる事業 (よつば苑)

【公益を目的とする事業】

居宅介護支援事業 (よつば苑)

配食サービス (よつば苑)

【収益を目的とする事業】

売電事業 (よつば苑)

2: 運営方針

利用者が自立した生活を営むことができるよう、個々の心身の状況を踏まえ、その有する能力に応じ、利用者の選択に基づき、適切なサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。サービス提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立つて公正中立に行うこととする。事業実施に当たっては、一般財団法人 育生会 横浜病院及び介護老人保健施設ユトリウムはもちろんのこと、地域自治会や近隣の医療・保健・福祉サービス及び関係自治体との綿密な連携を図り、総合的かつ地域に根ざしたサービスの提供に努めるものとする。また、サービスの質の維持向上を前提とした上で効率的な運営を行い、利用者の満足度の向上に加え、職員の満足度、充実感の向上をも図り、全職員が一体となって高齢者介護、福祉に取り組む体制作りをして行く。

3: 処遇方針

利用者の満足度を高めるために、利用者個々の心身等の状況、要望及其その置かれている状況並びに家族等の状況を十分に把握し、利用者及び家族の同意のもと、サービス計画を作成し各種サービスを提供すると共に、継続的なサービスの管理及び評価を行うものとする。介護に当たっては、利用者に求められているものは何かを常に考え、利用者のプライバシーや基本的な人権を最大限に尊重し、利用者、家族、職員が互いに信頼し、より良い処遇が出来るように取り組んで行く。利用者個々に合ったきめ細かいサービスの提供を心がけ、必要なときに最適な援助を行うことが出来るよう、職員の意識と技術の更なる向上を目指す。

4: 概況

平成28年度は、よつば苑の空調設備の入れ替えや隣地購入、たまたばこ小規模通所介護の利用率低迷等により、全体的に非常に厳しい年度であった。各事業をみると、介護老人福祉施設は入院者及び退所者の増加により昨年度に比べ年間平均利用率が94.3%と3.3ポイント低下し、減収となった。平均介護度も4.32となり、重度化が進み、介護職員の負担感が増している。

短期入所は、入院などによる急なキャンセルや老健への入所、新規利用者の伸び悩み等もあるが、ロング利用の確保等により徐々に利用率が改善し、年間平均利用率が前年度比10.0ポイント増加の87.7%と、3年ぶりに改善した。2月には短期入所8床を介護老人福祉施設本入所へ転換し、入所待機者の減少とベッド利用率の向上を図った。

通所介護は、送迎エリアの拡充や重介護者の受け入れを積極的に行ったが利用中止者も多く、登録者数の減少により年間平均利用率が前年度より8.4ポイント低下、一日平均17.9名となった。近隣の地域ケアプラザや併設老健ユトリウムの通所リハビリテーション等と情報交換して連携を一層密にし、サービスの更なる充実を図って利用率の改善に努める。

隣りにあるグループホームかぐやひめでは、入院者及び退所者の増加により年間平均利用率は昨年度より2.3ポイント減少した。拠点が離れているが、職員の異動や連携を密にすることで情報共有に努めている。

南区にあるグループホームたまたばこの年間平均利用率は、前年度比3.0ポイント増加し97.5%となり、以前の利用率に回復している。併設の小規模通所介護については、近隣の地域ケアプラザや居宅介護支援事業者への情報提供に努め、近隣のポスティング等も行ったものの、利用者数が伸び悩み、改善の見込みがなかったことから、28年度で廃止とした。

ひとり暮らし等で食生活のサポートが必要な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事を自宅にお届けし、同時に安否確認を行う配食事業では、訪問時に利用者の異変を察知し、救急搬送したケースもあり、地域の社会資源のひとつとして大きな役割を果たしている。

職員の確保については、年々困難な状況となってきた。本会は8年前からEPA(経済連携協定)による、海外からの介護福祉士候補者を受け入れており、現在までの実績は、合格率・定着率ともに100%と、安定した人員配置が見込めるので、新規特養の開設を見据えベトナムの介護福祉士候補者4名、フィリピンの介護福祉士候補者1名を29年度に受け入れることを決定した。また、29年度は26年度に受け入れたベトナムの介護福祉士候補者2名が介護福祉士の受験を予定しているが、模擬試験の結果等から合格が確実と思われる。また、定年を66歳に延長し、職員が安心して長く安定した勤務ができる環境を構築したほか、腰痛予防対策としての移乗用リフトの導入や常勤職員比率の向上、新卒学生の採用活動、ホームページ等を通じての情報発信に加え、併設病院の保育室利用、職員の満足度(ES)向上を図ることなどで、引き続き人材確保に努めていく。

貸借対照表
平成29年3月31日現在

社会福祉法人 育生会

単位:千円

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産	255,300	流動負債	50,656
現金預金	129,917	事業未払金	13,752
有価証券	0	その他の未払金	17,517
事業未収金	117,352	1年以内返済予定長期運営資金借入金	16,680
未収金	391	1年以内返済予定リース債務	886
未収補助金	3,475	預り金	0
立替金	121	職員預り金	1,820
前払金	3,906	仮受金	1
他会計区分貸付金	0		0
会計区分外貸付金	0		0
仮払金	138		0
その他の流動資産	0		0
固定資産	1,062,040	固定負債	166,732
基本財産	766,644	設備資金借入金	56,495
土地	201,600	長期運営資金借入金	30,540
建物	565,044	リース債務	3,025
基本財産特定預金	0	退職給付引当金	70,298
その他の固定資産	295,396	長期預り金	6,374
土地	45,000		0
建物	0		0
構築物	616	負債の部合計	217,388
機械及び装置	16,271	基本金	380,051
車輛運搬具	6,038	国庫補助金等特別積立金	527,163
器具及び備品	8,572	その他の積立金	0
建設仮勘定	19,840	次期繰越活動収支差額	192,739
権利	5,016	(うち当期活動収支差額)	△59,951
ソフトウェア	3,330	純資産の部合計	1,099,953
無形リース資産	3,911		
投資有価証券	1,060		
退職給付引当資産	58,760		
長期預り金引当資産	174		
その他の積立資産	107,128		
差入保証金	3,471		
その他の固定資産	16,209		
資産の部合計	1,317,340	負債及び純資産の部合計	1,317,341